

平成30年度病院事業決算が確定しました

平成30年度収支

単位：千円

区 分		決算額
収 入	病院事業収益	1,750,379
	医業収益	1,151,638
	医業外収益	373,005
	老人保健施設事業収益	185,323
	訪問看護事業収益	40,413
支 出	病院事業費用	1,835,992
	医業費用	1,449,438
	医業外費用	108,507
	老人保健施設事業費用	185,803
	訪問看護事業費用	36,549
	特別損失（退職手当引当金）	55,695
差 額		▲ 85,613

※減価償却等の現金支出を伴わない費用等を除いた実質収支は、1,842万円の黒字でした。
なお、決算額は税抜きです。



一日平均患者数
(外来)

174.1人 (H29 185.2人)



一日平均患者数
(入院 99床)

87.2人 (H29 89.6人)



一日平均利用者数
(老人保健施設 45床)

43.7人 (H29 43.9人)



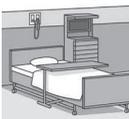
一日平均利用者数
(デイケア)

13.1人 (H29 13.8人)



一日平均利用者数
(訪問看護)

21.5人 (H29 13.5人)



病床利用率

88.1% (H29 90.5人)

当院は車で20分以内の地域に病院がないという環境的要因があります。また、整形外科や眼科の手術を毎月10件から15件行っていることや、町内2箇所診療所への医療支

なぜ智頭病院は対象外だったのか？

県内に町立の病院は4病院あり、智頭病院以外の3つの病院は対象となっていました。

しを要請しています。

これは「診療実績が乏しいかどうか」や「車で20分以内の地域で同じような診療実績があるかどうか」を調査・分析し、対象となった全病院に対し、今後の再編への議論を活性化させることを目的としています。対象となった病院には、廃止・統合・ベッド数の削減などの検討（強制力なし）を要請しています。

公立病院の再編について

9月26日、厚生労働省は、高齢化で膨張する医療費抑制のため、再編・統合の必要があると判断した424の公立・公的病院名を公表しました。

援として「へき地医療拠点病院」の指定を受けていることが、大きな要因といえます。

平成30年度、機器類の新規導入・更新等で経営は厳しい状況でしたが、実質収支は約1,800万円の黒字となりました。

介護保険制度開始以降、世の中の動向を見ながら、地域のニーズに即して、病院の再編を進めてきたところですが、引き続き地域住民の皆さんに「この病院があつてよかった」と思ってもらえるよう健全経営に努めていきます。

是非、私たちと一緒に働きましょう

智頭病院では次の職員を募集しています。

- ◆看護師・准看護師
- ◆介護士
- ◆薬剤師

*勤務形態については相談ください。